

パラグアイ国地域と歩む学校づくり支援プロジェクト (2013年8月ー2016年9月)

第1回 活動報告 (2013年9月)

パラグアイにおける現地活動が開始されて1ヶ月が経過しました。到着当初は35度以上の暑さでしたが、春の嵐がやってきて気温が一気に20度以上も下がり、また数日前から暖かくなってきました。そのせいか一斉に美しい黄色いラパチヨの花が咲き始めています。ラパチヨの花は国花で、桜のようなピンク色の花を咲かせる木が多いのですが、ピンクが咲き終わり青々と葉が茂り始めると今度は黄色いラパチヨが咲き始めるので、しばらく春の花盛りを楽しむことができます。

プロジェクト活動は、ゆっくりとですが順調に進んでいます。

専属でプロジェクトに配置されたCP達5人は積極的で意欲のある人たちなので、各部署の上司との連絡や情報の共有なども進んで行って頼もしい限りです。お陰で朝7時や8時から会議のアポを入れてくれるので早寝早起きが必須になっています。月曜日から一人男性のCPが加わりますが、黒一点の女所帯、にぎやかなアマゾネス集団といった様相です。

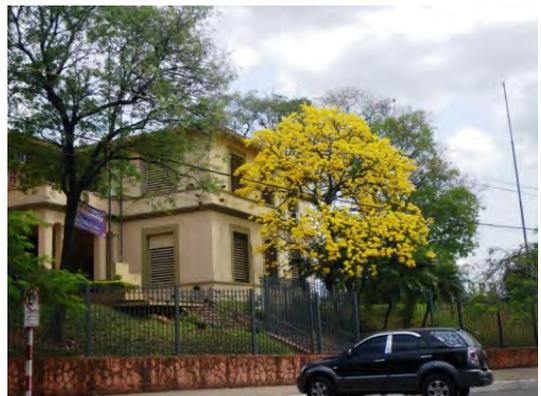
先週は全国の教員養成校の校長が集まる会合に呼ばれてプロジェクトのプレゼンを行なってきました。好意的な反応をもらいほっとしているところです。来週からは約1ヶ月をかけて対象4県への行御が始まります。プロジェクトの説明・協議とプロジェクト体制の構築、ベースライン調査で1週間ごとに各県を回ります。CPは張り切っており、楽しみではありますが、長丁場で皆の意欲の維持と体力の方が心配です。



プロジェクト内会議の様子



全国IFD校長会でプロジェクトのプレゼンを行っている様子



ラパチヨ (パラグアイの国花)